

初雪や 水仙の葉 たわむまで
- 松尾芭蕉

久が原地区 管内	人口	男	13,110人
		女	13,430人
		計	26,540人
	世帯	12,153世帯	

平成21年 12月 1日現在

くがはら

発行：地域力推進
久が原地区委員会
編集：地域情報紙「くがはら」
編集委員会
事務局：大田区久が原特別出張所
〒146-0085 大田区久が原4-12-10
TEL (3752) 4271
FAX (3752) 4514
題字：三木兼吉

平成二十二年の新春を迎えられ、誠におめでとうござい
ます。
昨年は「くがはら安心・安
全マップ」を作成し、皆様
にお届けいたしました。各自
治会のご努力とご協力により、
町の安心、安全は保たれてい
ると思えます。また、管内全
住民参加による「ふれあい久
が原大運動会」は晴天に恵ま
れ、盛大に二十回記念大会を
開催することができました。
住宅地が中心となっている
私たちの町は、安全で安心し
て暮らせることが必須です。
しかし、ひったくりや空き巣
の被害はなくなりません。ま
た自転車による交通事故や、
出合いがしらの事故なども多
く見られます。
一方、高齢化が進んでいる
中で、一人暮らしの高齢者や

新年のごあいさつ

久が原地区

自治会連合会長

小原 洪一

初春

皆様のご多幸と
ご繁栄をお祈りいたします
本年もよろしく
お願いいたします



平成
二十二年

高齢家族の世帯などが増えて
おり、いざ災害発生とな
ったときに速やかな避難がで
きない状況にあります。住み
やすいまちづくりをめざし
て、地域全体で皆様とともに
取り組みたいと考えます。各
単位自治会へのご協力をよろ
しくお願いいたします。
年頭にあたり、皆様のご繁
栄とご健康を心よりご祈念申
し上げます。



久が原の伝統

西部八幡神社の

「とんど焼き」

氏子青年会 小川 健

もういくつ寝るとお正月
十二月に入ると街にジン
グレルが流れ、年の瀬の慌
ただしさを感ずりますが、新年
を迎える期待は特別なもの

成人の日に寄せて

夢を現実に

嶺岸

佑有



小さいころにイメージしていた二十歳は、「自分の夢をかなえ社会人として自立しているだろう」なんて思っていました。だけど今の自分は普通に大学に通っています。

こんな自分でも二十歳に近づくにつれ、「大人になつたね」だの「昔と変わったね」だのと言われるようになりました。自分ではあまり二十歳になつた気がしません。だって漫画以外の本なんてまじめに読んでたこともないし、ゲームだってするし、大きくなったのは体だけ、そんな気がします。

しかし、こんな自分でも二十歳になり、成人という大きな人生の扉の前に立っています。自分の将来をまじめに考え、夢だったものを目標に変え、実現するために進んでいます。まだまだ先のこともかもしれないけれど、いつか夢があります。

家の大掃除、門松・お飾りの取付け、おせち料理の準備など。初詣は地元神社へお参り、正月気分も抜けぬまま初仕事に七草粥。この日にお飾りをはずして…。

とここで皆さんは、はずした正月飾りはどうしていますか？捨てるには忍びないし…。当社社境内では一月十一日（成人の日）正午より、門松・お飾りや古神札に無病息災を

を現実にして自立し、社会に貢献できるように大人になりたいと思います。

そしていつかは自分たちの世代が中心になり、日本を支え、親を支えるのだなーと思うと、なんだかとても大きな責任を感じます。だけどそれが二十歳になるということ、成人としての責任だと思いません。これからはその責任を胸に感じながら、大人になる努力をしていこうと思っています。

成人の日に寄せて

子どもから大人へ

土井 智恵



二十歳。はたち。成人。私は、自分が大人になるのはまだまだ先のこと、いつまでも子どもそのままです。ランドセルを背負って走りまわっていた小学生のころから、もう何年もたっているとは思えません。けれども、あれほど大きく感じていた公園、見上げていた

願ってお焚き上げする「とんど焼き」を行っています。

久が原西部八幡神社の「とんど焼き」は、氏子青年会を中心に久が原東部八幡神社氏子若衆頭会と、田園調布消防団第五分団の協力を得て、十数年来続いている行事です。

当日は、けんちん汁と焼き芋、お子様にはお菓子を用意してお待ちしています。是非、門松・お飾りや古神札をご持参のうえお出かけ下さい。



遊具をとっても小さく感じてしまう今、心も身体も成長したのだと実感せざるをえず、少し寂しい気持ちになります。

今までの二十年間、さまざまながありました。笑って、泣いて、決して楽しいことばかりだったとはいえないけれども、つらく苦しかったことも含め、すべての経験があるから今の私があるのだと思います。たくさんの人と出会い、たくさんのお話を学び、かけがえのない思い出にふれたこの二十年間、私は自分がどれほど多くの人に支えられてきたのかを考えると、感謝の気持ちでいっぱいです。

いつまでも子どものままではいられません。成人という大きな節目を跨ぐということにまだまだ実感はわかないけれども、自分の言動に責任を持ち、今まで私を支えてくれた方々に恥じることはないよう過ごしていきたいと思っています。

いつか自分の過ごしてきた道を振り返ったとき、幸せだったと感じることができるよう、私はこれからも成長していきたいと思っています。



イベント情報

- 久が原東自治会合同新年会
【日時】1月9日(土) 13:00～
【場所】久が原特別出張所集會室
- 久が原西自治会新年会
【日時】1月10日(日) 13:00～
【場所】久が原會館
- 松仙小学校もちつき大会
【日時】1月17日(日) 10:00～12:00
【場所】松仙小学校
- 久原小学校くがはら冬まつり
【日時】1月24日(日) 10:00～12:00
【場所】久原小学校
- 道々橋自治会初詣
【日時】1月31日(日) 7:45～
【場所】秩父神社
- 青少対子どもレク大会
【日時】3月6日(土) 9:30～12:30
【場所】大森第十中学校

◇ 問合せ先 (3752) 4271
久が原特別出張所



久が原の避難場所③ 久が原西 自治会地区 三か所ある一時集合場所

久が原地区には災害時の避難所として、久原小学校、松仙小学校と大森第七中学校の三校があることを前号で紹介しましたが、今号では久が原西自治会地区の一時集合場所について紹介します。

久が原西自治会地区は、避難所でもある松仙小、久原小、大森七中の三か所が一時集合場所です。久が原東自治会地区と違い、すべて公立の小中学校です。この一時集合場所

から、避難所に指定されている松仙小学校へと移動することになります。

前号で紹介したように、避難所には災害発生時に使用する毛布、簡易トイレをはじめとする各種器具やアルファ化米などの非常食が数日分備蓄されていますが、避難所は災害発生時に自宅生活できない方々を対象としていますので、避難所に行かずに自宅生活することができると思われる方は、一時集合場所や多摩川河川敷Bの最終避難場所に集まる必要はありません。

久が原地区は、縄文時代より先人達が住みよい村として居住していました。災害発生がないことを願うばかりです。(小倉敦司)

さわやか健康講座③ 低温やけどにご用心 さわやかサポート久が原 TEL5700-5861

冬本番、使い捨てカイロや湯たんぽなどの暖房器具が手放せない季節となりました。この時期、気をつけたいのが、「低温やけど」です。触れていて快適な、体温よりやや高い程度の温度でも、長時間の連続使用によりやけどを起すことがあるのです。

普通のやけどにくらべて痛みが少なく、気づきにくいのですが、時間をかけて皮膚に作用する分、傷口が深く、重症化してしまいます。特に、感覚が鈍く血行が悪い脚は、低温やけどを起しやすい場所

受賞のお知らせ 「夏休みドキドキ学校」が 博報賞を受賞 久原小学校長 清水 一豊

十一月七日、丸の内の日本工業倶楽部において、財団法人・博報児童教育振興会が主催する第四十回「博報賞」教育活性化部門を「夏休みドキドキ学校」が受賞しました。

授賞式には、小原洪一久が原地区自治会連合会長、松田千歳久原小学校PTA夏ドキ委員長と私が出席しました。

七年前に始まった夏ドキも、地域や保護者の皆様に育てられ、年ごとに充実、発展してきました。久が原の自治会の方々からは、「久が原の自慢」という評価をいただきました。また、PTAでも三年前に夏ドキ委員会が発足し、運営の中心となっています。



です。冷え性の女性や高齢者、糖尿病で知覚障害のある人などは、特に注意が必要です。

低温やけどを防ぐ原則は、長時間同じ場所に暖房器具をあて続けないこと。就寝時に使う湯たんぽやあんかは体から離して置く、タイマー付きのものは一〜二時間に設定する、使い捨てカイロは一か所に長時間貼らない、などです。使用中に少しでも熱いと感じたら、すぐに熱源を遠ざけるようにしましょう。

今後子どもたちを育てる夏ドキの発展に向け、皆様の一層のお力添えをお願い申し上げます。

「夏ドキ」で講座を開きたいと思われている個人、団体の方は、久原小学校にお問い合わせください。



久が原の木シリーズ⑭ 柳の交番の柳

小川 博

柳の交番で知られている久が原の中心部にある久が原交番の柳は、平成十六年十二月の大風で地上二・五メートルの所から倒れてしまいました。

すぐにまちなみ整備課（当時）が包帯などの処置をしてくれましたので、新しい芽もふきはじめ復活したか見えましたが、思っていた以上に幹内部の腐食が進み、空洞化していたため、とうとう伐採することになってしまいました。

シンボルがなくなり寂しい気持ちでいたところ、昨年二月に写真のような新しい柳に

新型インフルエンザ対策

個人に求められる感染防止活動の原則は以下の六つです。

- ① 感染が疑われる人や地域に近付かない。
- ② もし、具合が悪くなったら、外出せず、家にいる。

編集後記

虎は千里駈けて千里戻るといわれたり、虎口に入らざんば虎児を得ずなどと、丈夫な強い動物の代名詞になっています。人はお正月のあの薬を飲むと、子虎になったり大虎になります。知恵と勇気で手なずけた本当の虎に大笑いされないように、よい紙面づくりを氏神様に祈念しました。皆さん今年もよろしく。

（小倉敦司）

編集委員紹介

地域情報紙「くがはら」の編集委員を紹介します。なお、

植え替えられました。まだ幹廻りも細く頼りない気もしますが、二代目柳として先代に負けじと、復活をアピールするかのよう元気な育っています。地域のシンボルとして大事に見守ってあげましょう。



- ③ マスクを着用し、鼻や口をカバーする。
- ④ ひんぱんに手洗いをし、外出時にもひんぱんな手洗い消毒を行う。
- ⑤ むやみに、自分の手で、目、鼻、口をさわらない。
- ⑥ 感染のリスクを下げるための方策を出来る限り実行する。

五邊幸美さんは今号から委員になっていただきました。久が原地区の皆様、よろしくお願いたします。

小倉 敦司

（編集長・久が原東自治会）

大林 昇

- （副編集長・久が原南自治会）
道上ミヨ子（久が原東自治会）
船木 伸子（久が原東自治会）
種田なおみ（久が原西自治会）
山野不二子（久が原西自治会）
富田 永美（久が原西自治会）
佐々木琢磨（久が原南自治会）
福田久美子（久が原南自治会）
三部 修一（道々橋自治会）
五邊 幸美（道々橋自治会）